

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 彩り-IRODORO-		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日	～	令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 18	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日	～	R 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 4 月 16 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達との関係、その保護者との関係性がしっかり出来ていて、子ども達に対する支援に納得してもらえている。	中高生だけの支援をしているので、将来、自立できるようプログラムを独自で作りに上げている。 職場体験や外部からの職業紹介等、様々な企業と協力関係があり、事業所の直接支援のプログラム以外にも力を入れている。	現在のプログラムだけではなく、時代の流れに乗って、子ども達が興味、関心を持ち、彩りに行きたいと思ってくれる事業所を作りたい。 また管理者、児発管を含めた職員全員の現場力を育てながら、子ども達、その保護者に満足してもらえる支援を作り上げていきたい。
2	中高生だけに特化した支援が、相談員を通し、学校、役所、他事業所等に認知してもらえており、昨年からのいろいろな地域の他事業所から、中高生の移行の話が来るようになった。	子ども達が飽きないように、毎日のミーティングでの振り返りを行い、改善をし、同じプログラムでも、次回の活動で子ども達が興味を持ち、取り組んでくれるよう職員の意識も高めながら支援に取り組んでいる	職員の現場力を育てて、どんな子でも対応でき、子ども達一人ひとりとは勿論、その保護者との関係性、信頼を築き上げた。 その為に、職員一人ひとりとの面談を大切に、その後の全体でのミーティングや支援会議をしっかり実行したい。 今後もより良い支援を提供し、更なる飛躍ができるようにしたい。
3	他の放課後等デイサービスにはない、中・高生だけに特化した支援を提供、協力企業と連携し、将来の自立(就労)に向けた支援を提供し、実際に職場体験を実施しながら子ども達に色々な人と接してコミュニケーション能力を高め、仕事の厳しさ、楽しさを経験してもらっている。	自立に向けた支援で、グループワークは勿論、子ども達一人ひとりが、自分の意見や考えを伝える環境をつくり、他児との関わりが多く持てる。 また、事業所内の活動だけではなく、屋外へ出たの公共交通機関の利用や、金銭管理(買い物支援)、近隣の公共施設の利用の仕方等、自立に向け様々な体験ができる。	職場体験で協力を頂いている企業は勿論、その他の企業や各高校、専門学校、就労移行支援事業所、就労支援事業所等との連携を深め、卒業後の児童の進路の幅を広げていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童が多い際には事業所が窮屈だと感じている。	利用児童が増えてきて、中高生で体も大きいので、今の事業所では狭い。	グループワーク等で、児童を分けて活動をするなどの工夫はしているが、児童たちの学校、自宅から支援時間が十分確保できる場所の物件を探す。
2	子ども達の対応、その保護者への対応を一部職員で行っている。	新人職員が多く、まだ子ども達との関係性、その保護者との関係性が作ることが出来ていない。	職員一人ひとりとの面談や、ミーティングでの振り返りを行い、利用児童の対応の仕方、保護者への支援の内容の伝え方等、時間を作って勉強していく。
3	職員研修の取り組みが充分できていない。	新人職員が入社してきた時期が、春休み前で、早下校の児童や、春休みに入ってから朝からの利用児がいた為、職員全員で研修を行うことができなかった。	初めは一部職員でも定期的に日時を決めて研修に参加し、最終的には職員全員が同じように研修が受けられるようにしていく。